

工大 広報

Tohoku Institute of Technology Magazine

No. **313**
2024.4 SPRING

東北工大の「いま」と「ミライ」が分かるマガジン



未来のエスキースを描く。

特集

LABORATORY REPORT 研究室通信

生態系の機能を活用して
水環境の保全と再生を

工学部 環境応用化学科
山田 一裕教授

グラフィックデザインの表現領域を広げて
独創性あるアイデアを形にする面白さを

ライフデザイン学部 産業デザイン学科
古川 哲哉教授

CONTENTS

P08 【TOPICS】地域連携センター

P09 【TOPICS】研究支援センター

P10 【TOPICS】東北工業大学課外活動優秀者表彰式

P11 【TOPICS】令和5年度学位授与式

P14 【TOPICS】工大クラブ・サークルFILE

P15 【Information】4～6月の一番町ロビー催事案内

【Information】2024年度前期の主な行事予定


TOHOKU INSTITUTE
OF TECHNOLOGY


2024 TOHOKU INSTITUTE OF TECHNOLOGY
60th ANNIVERSARY

LABORATORY REPORT

研究室通信 Vol.25

工学部 環境応用化学科

やま だ かず ひろ

山田 一裕教授

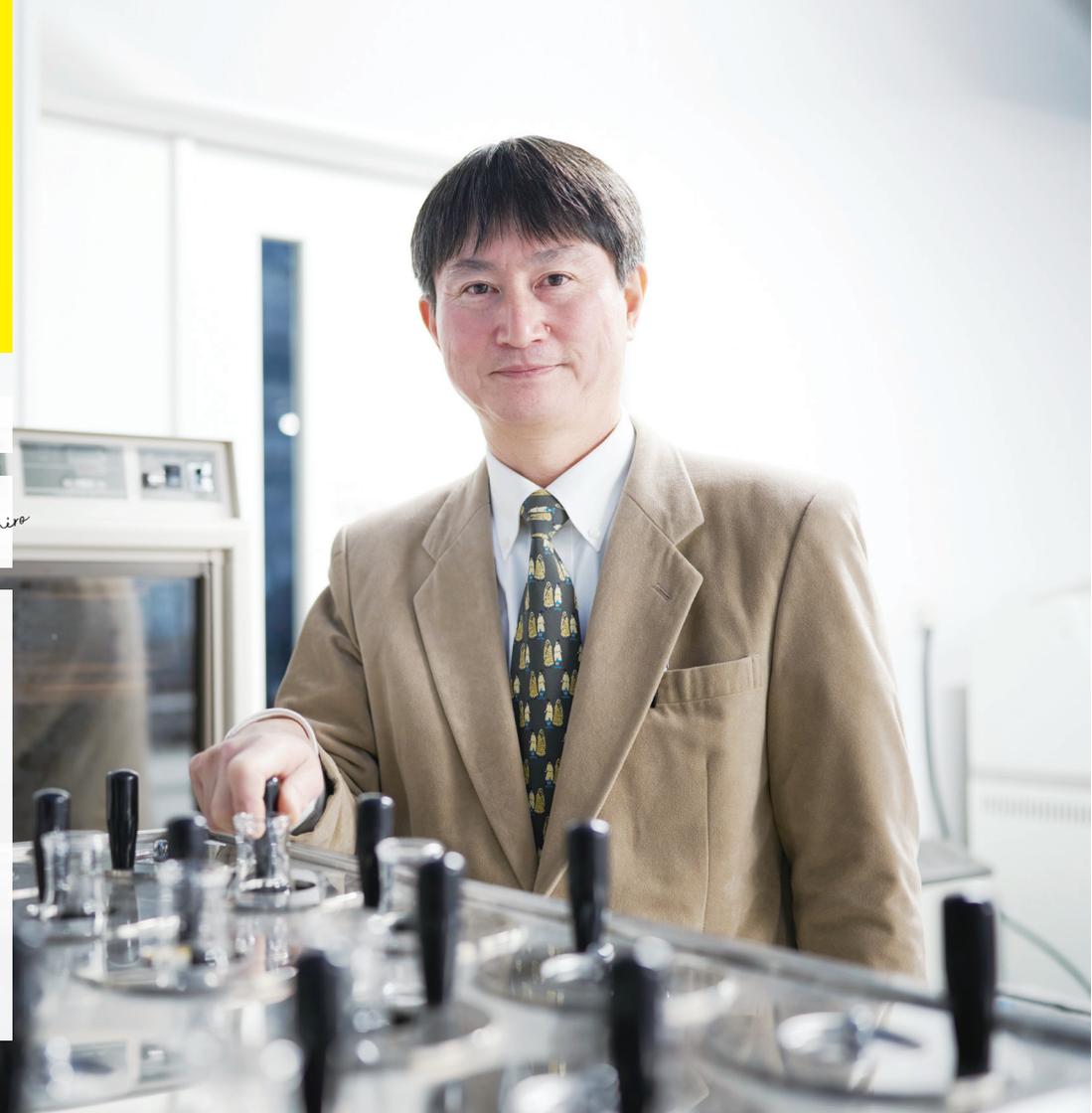
Yamada Kazuhiro

PROFILE

東京理科大学大学院工学研究科工業化学専攻を修了後、生活協同組合都民生協(現:コープとうきょう)で勤務。1991年1月から2年間に、国際協力事業団青年海外協力隊のモロッコ王国水質検査隊員として活動。帰国後、東北大学工学部の助手を務め、1998年に博士(工学)の学位を取得。同大学院工学研究科講師を経た後、2003年4月から岩手県立大学総合政策学部の助教授、教授を歴任。2010年に本学の教授に就き、現在に至る。

担当科目

循環型社会形成論、科学リテラシー、環境マネジメント、地域環境調査法及び同演習、水環境工学、大気環境工学 など



【研究テーマ】

生態系の機能を活用して 水環境の保全と再生を

循環型社会づくりを目指し、污水浄化方法や水環境の管理・再生方法を研究している山田先生。特に、水生植物や微生物といった生物の性質や特徴を活用した浄化方法の開発、さらに浄化された水やバイオマスの有効利用にも探求を深めています。水質汚染を含む環境問題の解決に取り組む揺るぎなき信念とともに、震災前の北上川河口域で目の当たりにしたヨシ原の感動が、研究に取り組む原動力になっていると語ります。



ヨシ原保全活動への協力

現代の環境問題を世に問うため 学術的な知識を高める進路へ

— どんな将来像を描いていましたか。

東京理科大学では工業化学分野を専攻し、工業排水の処理に関連する研究に取り組みました。実は、それ以前から環境問題に関心が高かったので、公害の実態を報じて解決に向けた活動につながるマスコミ業界での就職を第一志望に考えていました。でも、世の中の多くの人に行動の重要性を伝えるためには、やはり自分自身が科学の専門知識を身につけていないと説得力に欠けると思い、大学院への進路を選択しました。修了後は、生活協同組合都民生協で勤務しましたが、熱心な組合の方たちと民間ベースで盛んに意見交換したり勉強会をしたりでき、有意義な2年間を過ごせたと感じています。

— 国際協力事業団青年海外協力隊に参加したのは。

海外、特に途上国での環境問題がどのような状況なのか興味を持ち、応募しました。現地での活動に充実感はありましたが、それでもまだまだ知識や経験が足りないと思い、帰国後は、博士の学位を取得しようと決意しました。

生物が秘める機能を理解しながら 水質改善に活用する仕組みを

—— 山田先生が取り組んでいる研究とは。

汚水処理の分野では、人工的なエネルギーや薬剤を大量に投入して浄化する技術がすでに確立されているのですが、これからは石油や化学薬品などに依存せず、生物が本来持っている力を引き出して浄化や資源循環に活用することで、持続可能な社会づくりに寄与できると考えています。学生時代に国立公害研究所(現国立環境研究所)で研究に取り組んでいた際、植物の機能を利用して生活排水を処理する実験をしていた学生がいて、その研究テーマにとっても心惹かれたのが最初のきっかけになりました。東北大学に赴任して同様のテーマに取り組むチャンスに恵まれ、その調査のために訪れたのが北上川河口域のヨシ原でした。もう30年も前になりますが、初めて目にした時は、視界に大きく広がる見事な風景にとっても感動しました。

—— ヨシが持つ浄化機能とは。

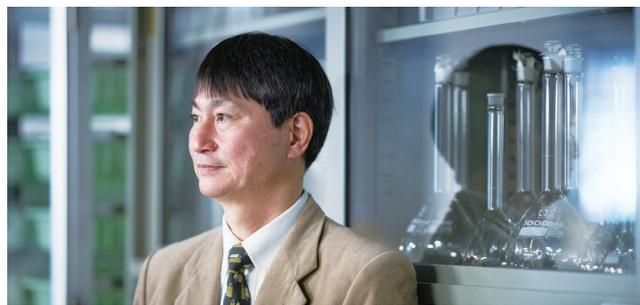
ヨシの茎は中空構造になっていて、空気を通す機能を持っています。光合成で作出した栄養と新鮮な空気を水面下の地中に送り込むので、根の周りには微生物を活性化させます。微生物が元気になる、水の中の汚れや化学成分を分解して浄化作用を生み出すので、水質改善につながります。3㎡のヨシ原は、1人の人間が1日に出す家庭排水を処理する能力があることが分かっています。ヨシの良好な生育環境や浄化能力を発揮できる生体構造を調べ、水質改善のシステムとして完成させることが命題となっています。

—— 現在、研究の主題は何ですか。

全国的にヨシ原の生育面積は衰退の途をたどっており、北上川河口域のヨシ原も東日本大震災で半減してしまい、その内の3分の1程度しか再生していません。本学では、ヨシ原がなぜ衰退して



1 水生植物ヨシを使った汚水処理実験 2 広瀬川でのマイクロプラスチック調査



しまったのか、復活させるためには何をすればいいのかをメインの研究テーマに据えてきました。また、茅葺屋根の工事を担う地元企業やNPO法人と連携し、ヨシ原再生活動を企画して、研究室の学生にも参加を促しながら保全と再生に取り組んでいます。

社会の課題をともに解決へ導く 同じ志を持つ研究者を輩出

—— 研究者が社会に果たす使命とは。

私の恩師は、現代の環境問題を招いたのは産業に原因があり、その責任を負い、しっかりと技術で解決するのが研究者の使命であると言っていました。確かにそうだと納得する反面、個人がいくら頑張ったところで限界があるのでとも疑念を抱きました。それなら、世の多くの人たちが同じ方向を向いて行動することが、解決の近道になるのではと考えました。ジャーナリストになりたいと思ったのは、そういう思いをきちんと伝えられる手段を持っているから。今、私は大学教員として、環境問題に対する意識やスキルを備えた学生を世に送り出すことができます。また、社会の課題に対面する度、自分に何ができるか自問自答を繰り返しています。技術の進歩が全てを解決する手段になり得ないという考えが私の根底にあり、そこに慢心してはいけなくて自らを戒めています。

—— 山田先生にとっての「未来のエスキース」とは。

私たち研究者が手掛けている知の蓄積を、どのように社会へ還元していくか。そこに努力を注ぐ必要があると思っていますし、その実現のためには、やはり一人の力だけでは成し遂げられません。だから、同じ視点で目標を据えている同士を募り、一緒に力を合わせていく未来図を描ければと思っています。

COLUMN

わたしと
切手

切手収集は平和な趣味

みなさんは手紙を書いていますか。残念ながら手紙に貼る切手も需要がなくなりつつあります。世代的に、趣味の一つが切手収集です。小中学校までは、友人との交換や、切手屋さんを訪れてはコレクションを増やしていました。しかし、その後は疎遠になっていました。

縁があって青年海外協力隊でモロッコに派遣され、町の電話局に出かけなければ国際電話もできない状態におかれました。日本の友人に手紙を書き、相手や季節に合わせてモロッコ切手を選んでいくうちに、切手が伝える文化や自然、祭り、歴史などに魅了され、収集魂が再燃してしまいました。

帰国後は、「環境問題」と「モロッコ」というテーマで収集しています。使用済み切手を集めておけば寄付ができる慈善団体もあり、巡り巡って世界の切手収集家の手に渡る、循環型の平和な趣味とも言えるでしょう。

さあ、みなさんも手紙を書いて、切手を巡らせてください。

おしえてください
研究者の「こころの中」



最前線の研究をレポート!

LABORATORY REPORT

研究室通信 Vol.26

ライフデザイン学部
産業デザイン学科

ふる かわ てつ や
古川 哲哉教授

Furukawa
Tetsuya

PROFILE

東北学院大学教養学部情報科学専攻を卒業後、印刷会社や百貨店ハウスエージェンシー、デザイン事務所での研鑽を経て、2007年に古川哲哉デザイン事務所を設立。同年、東北芸術工科大学大学院修士課程デザイン工学専攻に進み、2009年に修士(デザイン工学)の学位を取得後、同大学デザイン工学部グラフィックデザイン学科非常勤講師を務める。本学には、2011年から非常勤講師を務め、准教授を経て2024年より教授に就任。

担当科目

エディトリアルデザイン論、デザインセミナーI~IV、表現技術および同演習I~II、デザイン計画および同演習A~C

【研究テーマ】

グラフィックデザインの 表現領域を広げて 独創性あるアイデアを 形にする面白さを

グラフィックデザインの理論的な学習と研究、実践制作を通じて、アイデアを可視化、具現化する力を養う教育を本学で担う古川先生。自身は、緻密で美しいタイポグラフィの哲学を貫くエディトリアルデザインを追求しながらも、学生たちには自由な興味の視点から制作へ取り組む姿勢を説いています。それは、社会に出てゼロベースからデザインの学びを求めた経験から、試行錯誤のプロセスにこそ発想の出発点があることを知るからでしょう。



古川研究室の様子

進路に紆余曲折がありながらも 自ら学びを重ねてデザインの道へ

—— 進学にかなり苦労されたようですが。

広告表現に強い関心を持っていたので、高校3年生で進路を決める際、デザインを学ぶ分野に進みたいと両親に相談したら猛反対されてしまい、エスカレーター式の大学進学を選ばざるをえませんでした。後に「本気でデザインを学びたいとは思わなかった」と告白され、ダブルスクールで専門学校に通う方法も提案されましたが、実現することは叶いませんでした。やはり夢を捨てきれず、大学卒業後に個人事務所を訪ねましたが、基礎も下積みもないので冷遇されてしまい、その時の悔しい思いが原動力になったと思っています。

—— デザイン事務所ではどのように学んだのですか。

とにかく、数えきれないほど過去の作例を見たり、資料を読みあさったりしました。毎晩、事務所に泊まってデザインのバリエーションを作成し、翌朝、上司に見てもらおうのを繰り返す毎日でした。そんな中で、「グラフィックデザインの99%は文字組みだ」と教えてもらったことに感銘を受け、現在の仕事につながっています。

個々の興味と発想から生まれる 新たなデザインの可能性

—— 美しい文字組みとは。

初めてブックデザインに関わった時、グラフィックデザイナーが全ての文字を1つずつ人の感性で詰めている事実に驚かされました。1mm、2mmどころじゃなく、0.001mm単位の本当に微細なレベル。文字組み(タイポグラフィ)に明確な正解があるわけではありませんが、やはり基本とすべき考え方はあると確信しました。その視点で世の中に流通している広告を見たら、意外と基本にかなっていないものが多いと感じたのが、大学院で専門的に学びたいと思ったきっかけです。しかし、研究・制作を続ける中で多様な考えに触れ、それぞれグラフィックデザイナーが考える文字詰め的美しさがあると、視野が広がりました。ただ、私は未だに、微細な感覚で整える文字組みのルールにこだわり続けています。



—— 本学での指導で心がけていることは。

学生に指導する際は、読みやすさ、伝わりやすさに関して言及することはありますが、あまり細部にまで気かけないようにしています。3年生までは、教員の方から課題として制作テーマを提示することはありますが、学生が柔軟な発想で取り組める環境であることを大切にしています。これまでの卒業研修は、「网点とグラフィックの関係性を用いた実験的なビジュアル制作」や「仙台駄菓子を対象としたお土産の提案」といった、学生それぞれに違った興味の視点で取り組んだものばかりで、卒業後もその延長線上にある職業や仕事に進んでいるようです。

—— アートとデザインの違いとは。

個人的には、アートか、デザインかという明確な区分をして

おらず、その境界を引くことを重視していません。むしろその境界上に、世の中には無かった面白い発見があるのではと思っています。正しいセオリーに従っていても、人間は失敗することがあります。ヒューマンエラーによる偶発的な産物に、新しい価値が生まれるケースが結構あると感じています。以前、学生がインクジェットプリンターで透明フィルムに印刷したところ、思ってもみなかった滲みの形ができました。それをひたすら作り続け、独自の考察を加えて卒業研修にまとめ上げました。そうやって、新しいロジックが生まれる土壌があると考えています。

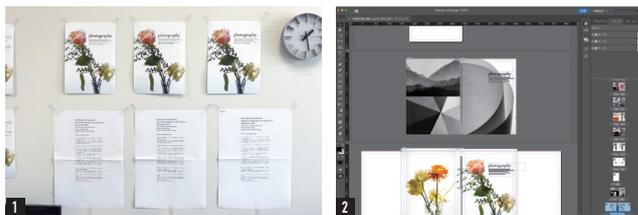
失敗と成功を繰り返す果てに 目指すべき未来を描いて

—— デザインの力を高めるためには。

大学院進学を決める前、デザイン業務に従事しながら大学に通えるか不安だったので、また父親に相談してみたのですが、「これからの時代、複数の得意分野を持つことが強みになる」と背中を押され、このアドバイスを心強く感じました。デザイナー一本で突き詰めていくことも大事ですが、音楽に精通していたり書籍に詳しくあったりする他分野の趣向も、新しいデザインを生み出す上でエッセンスになります。大学での学びとは別に、自分の得意なことや好きな分野を大切に持ち続けてほしいと思っています。

—— 古川先生が考える「未来のエスキース」とは。

学生の時期にこそトライ&エラーを恐れず、その度に生じる岐路から面白い未来に期待できる選択を楽しんでほしいと願っています。その過程で広げた経験の幅こそが、自分の可能性を高めるチャンスになるでしょう。だから、何度も消しては書き、消しては書きを繰り返して、描き切ることのない下絵づくりに、今は情熱を注いでください。



1 1年生を対象に写真家・越後谷出氏が講師を務める実習と写真集の制作
2 DTPソフトウェアによる写真レイアウト作業の実例

COLUMN

おしえてください
研究者の「こころの中」

わたしと

東北工大

60周年

おめでとうございませう！

昨年の夏に機会があつて故人である祖父の書き損じの履歴書を読みました。半紙に丁寧な縦組で筆書きされた履歴書を読み、はじめて祖父が今と言う公務員だったことを知りました。また祖父の仲人を務めていた方が、その後、本学の教員として勤務されたらしいことを聞きました。しかし苗字しか分からなかったため、半信半疑のままにしてみました。その後、そういえばと本学の50周年記念の本を調べてみました。すると土木工学科で最初の学科長をされていた故・菊地新吉先生だったことが分かりました。さらに調査を進めて、菊地先生が戦前の官員・職員録から祖母の父(曾祖父)の部下であったこと、その後の勤務地転換で祖父と同僚となつていたことが分かりました。想像するに職場の繋がりで祖父母を引き合わせ、仲人を務められたようでした。本学の50周年の記録から広がった家族のお話です。

今年60周年。本学に関わる一人としてより良い繋がりを広がり続けたいと思っています！





ホンネで

教員×学生

Lab Talk!

研究室対談

工学部 環境応用化学科 山田研究室

山田先生 笹原さんは素朴で実直、朗らかな性格だなと思っていたのですが、じっくり話してみたら、実は強いこだわりを持っているなど感じました。

笹原さん 研究テーマについてお話しした時でしょうか。山田先生は、講義では厳しそうな印象だったのですが、研究室の歓迎会やミーティングでユーモアある一面を垣間見て、ちょっと印象が変わりました。大阪ご出身と聞いたので、やっぱり…。

笹原さん 具体的な内容はまだ定まっていないのですが、河川水中に含まれるヒ素の除去に関する研究にグループで取り組みたいと考えています。

山田先生 そうですか。日本で今も根強く残る有害な化学物質による汚染問題の1つなので、それがどのような現状にあるのか調べ、正しい理解を深めながら改善の方法を提案してくれることを願っています。

笹原さん グループのみんなと頑張ります! そういえば、



学びの経験も重視。

フィールドワークで得る

現地に足を運んで

しっかり習得しながら

学術的な知識を

工学部 環境応用化学科

やま だ かず ひろ
山田 一裕教授

工学部 環境応用化学科4年

ささ はら けい た
笹原 圭太さん

山田先生 いやいや、職場ではいつも真面目な姿勢を崩しませんよ。笹原さんが、この研究室を選んだ理由は何だったの?

笹原さん 工業高校で学んでいる時から、工場などの排水処理や水環境の保全に関して関心がありました。上下水道施設の見学にも行って、よりこの分野に進みたいという思いが増えました。

山田先生 ずいぶん熱心だったんだね! 私が担当している公害防止管理者の資格取得を目指す自主ゼミにも参加していたよね。

笹原さん はい、2年生の時に。自主ゼミで山田先生のお話を聞いて、この研究室で学んでみたいと思いました。

山田先生 そうだったんだ。今年1年、どんなテーマで研究に取り組んでいくか考えているの?

今度、北上川河口域のヨシ刈りに行くんですね?

山田先生 9月からこの研究室に配属された3年生には全員、最低1度はヨシ刈りを体験してもらっています。ヨシに関わる研究に取り組んでいる学生は、月1回のペースで現地に足を運んでいますよ。

笹原さん 初めての経験なので楽しみです。

山田先生 宮城が地元の学生でも、広大なヨシ原の存在や管理されている理由を知っている人は少ないですからね。ヨシ原の研究と再生は、この研究室の立ち上げ当初からずっと長く取り組んでいることなので、私たちがフィールドワークに求めている考え方や目指してきたものを、実際にヨシに触れる体験を通じて、少しでも感じ取ってくれたらうれしいです。

研究活動を通して、日々繰り返されている先生と学生の対話。
そんなお互いのリスペクトに満ちたトークに耳を傾けてみませんか。

過去の対談は
こちらから！



ライフデザイン学部 産業デザイン学科 古川研究室

古川先生 三嶋さんは、どんな課題にも熱心に取り組もうとする意欲的な学生でした。3年次の選択科目である「エキスパートデザイン実習」も履修してくれましたよね。

三嶋さん はい、希望者の中から選考で選ばれた5人の1人でした。

古川先生 他の実習よりも難易度が高い内容だったので、よく頑張ってくれたと感心しています。卒業研修のテーマもユニークでした。

を提案してもらい、その中から自分がベストだと思うものを選ぶよう指導しています。三嶋さんは、それを常に実践してくれていると分かってうれしかったですよ。

三嶋さん …以前は、先生は柔和でやさしい方だという印象だったんですが、アドバイスをもらえず突き放されたように感じ、あれ、もしかしたら、学生に関心が薄いのかもと疑念が生まれて…。

古川先生 いやいや！そんなことはないですよ。



意義と面白さを。

新たなデザインを生む

試行錯誤して

突き詰めていきながら

独自のアイデアを

ライフデザイン学部
産業デザイン学科

ふるかわ てつや
古川 哲哉教授

ライフデザイン学部
産業デザイン学科(令和5年度卒業)

みしま
三嶋 そらさん

三嶋さん 私が取り組んだ「グラフィック表現の提案」は、写真を様々な方法で単純化することで、新しいビジュアル表現を提案するという内容でした。

古川先生 ずいぶん悩んだ時期もあったようだね。

三嶋さん 写真を単純化する方法はいろいろと思いついたんですが、どのように着地点を絞ればいいのか全く分からなくなってしまったんです。アドバイスを求めて相談しに行ったんですが、先生も難しくて分からないって…。

古川先生 そうは言いながらも、質問しにきた時は解決法を2択に絞っていたよね。自分なりにちゃんと行く先を見据えた上で聞きにきたんだなと思っていましたよ。

三嶋さん 1人で悩んでいた時間が長かったんで、先生の鶴の一声が欲しかったんです…。

古川先生 私の授業では、学生に複数のバリエーション

三嶋さん でも、なかなか学生の名前、憶えてくれませんよね？

古川先生 毎年、たくさんの学生と関わりますから…。

三嶋さん そういうことにおきましようか。でも、当初は平面のグラフィックで仕上げた制作物をただ並べるだけしかできなかったんですが、先生に相談したことで、映像にする手法を発見できて、完成度が飛躍的に高まりました！

古川先生 この方法が正解だという言い方はしていないので、三嶋さんなりに課題を消化して導いた答えだと思いますよ。

三嶋さん 今振り返ると、考えを重ねることで成長につながったと思います。

古川先生 それは本当によかった！

地域連携センター【CRC: Center for Regional Collaboration】

地域の課題解決や活力創出に貢献するべく事業を展開しています。

◆みやぎ地域連携マッチング・デイ2024でブース展示



マッチング・デイの展示内容

1月18日(木)に仙台国際センターで開催された「みやぎ地域連携マッチング・デイ」にて、本学地域連携センター・研究支援センターがブース展示を行いました。

ブース展示では、地域連携センター・研究支援センターによる、東北SDGs研究実践拠点の紹介展示と12の研究所の紹介動画を上映しました。プロジェクターで投影した映像は興味・関心を集め、多くの来場者がブースに立ち寄りました。

県内の関係機関や他の出展者とも情報交換を行い、今後の事業発展に役立つ機会となりました。今後の産学官連携の展開が期待できます。

◆産業デザイン学科2年生と3年生が制作した パイオニア株式会社のサウンドロゴが同社Webサイトで公開



上段:パイオニアの皆様 下段:長崎 智宏 准教授と参加学生



プレビュー風景

2023年9月7日(木)、ライフデザイン学部 産業デザイン学科 長崎 智宏 准教授と学生が共に取り組みをする「パイオニアサウンドプロジェクト」がキックオフしました。

このプロジェクトは本学とパイオニア株式会社、東北パイオニア株式会社との3者共同研究の取り組みで、約2か月間で制作し、11月初旬に最終発表を行いました。その後選ばれたサウンドロゴが、2024年1月10日(水)に、同社のWebサイトで公開されました。今後、同社が制作する動画の最後に会社名とともに出るサウンドロゴとして、さまざまな場で活用される予定です。

第一弾として、Webサイトに加え、「CES 2024^{*}」の同社ブースで公開された新概念ムービー内で使用されています。現地ラスベガスでは1月9日(火)から12日(金)の展示会中に公開されました。

※「CES 2024」

世界最大級のテクノロジー見本市。現地時間1月9日(火)から12日(金)にアメリカラスベガスで開催。AI(人工知能)やモビリティなどが主要テーマで、世界中からテック企業が集う。

「パイオニアサウンドロゴ」

作曲:産業デザイン学科2年 高橋 悠さん
編曲:産業デザイン学科3年 工藤 世丞さん、
長崎 智宏 准教授



Pioneer Creating the Future of
Mobility Experiences



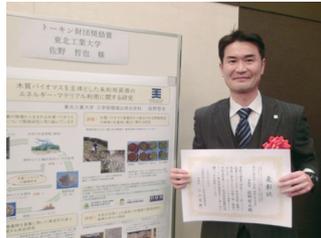
研究支援センター【RSC: Research Support Center】

企業及び各種団体との共同研究や受託研究を推進し、科研費等の外部資金研究開発推進等を行っています。

◆工学部 環境応用化学科 佐野 哲也 准教授がトーキン財団奨励賞を受賞



トーキン財団奨励賞を受賞した
佐野 哲也 准教授



研究概要のパネル前で記念撮影

工学部 環境応用化学科 佐野 哲也 准教授が、「木質バイオマスを主体とした未利用資源のエネルギー・マテリアル利用に関する研究」で、トーキン財団奨励賞を受賞しました。3月4日(月)に仙台国際ホテルで、公益財団法人トーキン科学技術振興財団*第34回(令和5年度)トーキン科学技術賞の贈賞式が行われ、佐野准教授を含めた各受賞者に賞状が贈呈されました。

*株式会社トーキン発祥の地である宮城県内の研究者に報いるため、工学分野の研究への助成、研究成果への奨励を目的に、平成2年に設立されたものです。

◆「東北工業大学新潟県円卓会議～持続可能な東北を目指して～」を開催

2023年12月3日(日)、ホテルグローバルビュー新潟(オンライン配信併用)で「東北工業大学新潟県円卓会議～持続可能な東北を目指して～」を開催。前半は、現在取り組んでいる研究事例の講演・話題提供として、経営コミュニケーション学科の佐藤 飛鳥 准教授による「若年層ニーズを反映したマーケティング～学生を交えた産官学連携～」をテーマに講演し、後半は石井 敏 副学長が「大学の近況及び東北SDGs実践拠点について」の講演を行いました。続いて東北工業大学同窓会および後援会より3名が登壇し、「新潟から工大に期待したいこと」をテーマに講演した後、参加した先生方との活発な意見交換を行い、充実した公開情報交換会になりました。



1.【開会挨拶】渡邊 浩文学長 2.【講演】ライフデザイン学部 経営コミュニケーション学科 佐藤 飛鳥 准教授 3.【登壇者】吉原 一博氏 4.【登壇者】高橋 正俊氏 5.【登壇者】土田 恵子氏 6.【後列左から】同窓会新潟県支部 動山 憲一 支部長、同窓会 秋元 俊通 会長、渡邊 浩文学長、後援会 小島 信弘 会長、後援会新潟県支部 伊藤 広義 支部長 【前列左から】石井 敏 副学長、登壇者 吉原 一博氏、高橋 正俊氏、土田 恵子氏

◆東北SDGs研究実践拠点 研究活動紹介動画を公開

東北工業大学の研究活動をよりわかりやすく紹介するため、「東北SDGs研究実践拠点 研究紹介動画」を制作し、本学webサイトに公開しました。ぜひご覧ください。



電気電子工学科 柴田 憲治 教授
「人工原子の作製と制御による高機能デバイスの実現」



情報通信工学科 佐藤 篤 教授
「風の動きを可視化する目に安全なレーザーの開発」



建築学科 大石 洋之 准教授
「快適な建築環境の実現に向けた実測調査と環境デザイン」



生活デザイン学科 谷本 裕香子 准教授
「個へのアプローチから壁のない社会をつくる」

キャンパス通信

◆東北工業大学課外活動優秀者表彰式(令和6年2月9日)

体育または文化活動等の課外活動において、優秀な成績を収めた個人の部27名、団体の部5団体の栄誉を讃える表彰式を、2月9日(金)に八木山キャンパスで行いました。課外活動連合委員会加盟団体に所属する学生と教職員が見守る中、渡邊 浩文学長と小鹿 信弘 後援会長より表彰状と副賞が授与された後、受賞者に向けてお祝いの言葉が贈られました。表彰された団体や学生個人だけではなく、式を見守った学生たちにとっても、来年度の活動への意識が高まる表彰式となりました。



個人の部



団体の部

【個人の部(課外連団体所属)】

学科	学年	氏名	大会名または活動内容	成績など	所属等
情報通信工学科	4	佐藤 官	第57回仙台市民総合体育大会	ライフル射撃競技 HR60MW 第1位	射撃部
都市マネジメント学科	3	須藤 結子	第64回全日本理工科学生柔道大会	女子個人の部 第3位	柔道部
	3	芦野 樹	第64回全日本理工科学生柔道大会	男子団体の部 第1位 最優秀選手賞	
	3	福田 壮佑	2023年宮城県春季陸上競技選手権大会兼特別国民体育大会宮城県予選会	男子走高跳決勝 優勝(1m94cm)	陸上競技部
			第76回東北学生陸上競技対校選手権	男子走高跳決勝 6位(1m90cm)	
			第78回宮城県陸上競技選手権大会兼特別国体予選	男子走高跳決勝 優勝(1m97cm)	
第51回仙台市陸上競技選手権大会			男子走高跳決勝 優勝(2m00cm)		
第52回東北学生陸上競技選手権	男子走高跳決勝 2位(2m00cm)				
環境応用化学科	3	和田 健汰	岩手県民体育大会 空手道の部	軽量級 個人組手 第2位	空手道部
建築学科	2	伊藤 陽人	第62回東北バレーボール大学男女リーグ戦	優秀選手賞	男子バレーボール部
産業デザイン学科	2	鈴木 健斗	第61回東北バレーボール大学男女リーグ戦	優秀選手賞	
生活デザイン学科	1	菅井 惇平	令和5年仙台六大学野球秋季リーグ	新人賞 ベストナイン	硬式野球部
	2	阿部 峻彦	第41回全日本大学9ブロック対抗準硬式野球大会	全東北代表	準硬式野球部
	3	佐田 紘球	和道流空手道連盟 北海道大会	個人組手 第3位	空手道部
経営コミュニケーション学科	4	中野 昂希	令和5年仙台六大学野球秋季リーグ	ベストナイン	硬式野球部
	2	鈴木 悠斗	令和5年度東北地区大学準硬式野球連盟 秋季リーグ戦1部リーグ	ベストナイン	準硬式野球部
	3	安藤 将矢	2023年度 東北大学サッカーリーグ 2部南	得点王(14得点)	サッカー部
	1	杉山 治樹	第64回全日本理工科学生柔道大会	男子団体の部 第1位 最優秀選手賞	柔道部

【個人の部(学科・センター推薦)】

学科	学年	氏名	大会名または活動内容	成績など
建築学科	4	海道 遥佳	第27回JIA東北建築学生賞	奨励賞/河北新報社賞
	4	田中 堅太郎	新宿みらいアイデアコンペティション 神楽坂CT 第1回タカカツグループ学生住宅設計アイデアコンペ 宮城の家づくり2023	最優秀賞 日建学院賞
	4	山田 祐翔	新宿みらいアイデアコンペティション 神楽坂CT	最優秀賞
	4	永窪 輝斗	新宿みらいアイデアコンペティション 神楽坂CT	最優秀賞
	4	山内 悠一斗	新宿みらいアイデアコンペティション 神楽坂CT	最優秀賞
	4	高橋 太陽	第1回タカカツグループ学生住宅設計アイデアコンペ 宮城の家づくり2023	最優秀賞
	3	古山 蓮大	第1回タカカツグループ学生住宅設計アイデアコンペ 宮城の家づくり2023	最優秀賞
	3	藤田 大輝	第1回タカカツグループ学生住宅設計アイデアコンペ 宮城の家づくり2023	最優秀賞
建築学専攻	4	鈴木 優芽	文具女子博 文具のアイデアコンペティション	大賞
	1	菊地 健汰	第1回タカカツグループ学生住宅設計アイデアコンペ 宮城の家づくり2023 日本建築学会主催 建築文化週間2023 学生グランプリ「銀茶会」の茶席	最優秀賞 審査員賞
産業デザイン学科	3	永野 紫陽	JAGDA国際学生ポスターアワード2023	入選
	4	平野 真衣	JAGDA国際学生ポスターアワード2022	入選次点
	2	加藤 めぐみ	OAC学生広告クリエイティブアワード2023	グランプリ

【団体の部】

団体名	大会名または活動内容	成績など
剣道部	第71回 東北学生剣道優勝大会	団体戦 三人制の部 準優勝
硬式野球部	令和5年仙台六大学野球春季新人戦	準優勝
	令和5年仙台六大学野球秋季リーグ	第三位
柔道部	第64回全日本理工科学生柔道大会	男子団体の部 第一位
準硬式野球部	東北地区大学体育大会 準硬式野球の部	優勝
男子バレーボール部	第61回東北バレーボール大学男女リーグ戦	2部南リーグ 優勝
	第62回東北バレーボール大学男女リーグ戦	

◆2023年度(令和5年度)卒業研修発表・展示会レポート

工学部 電気電子工学科

【日時】2月22日(木)
【会場】八木山キャンパスtohtech FORUM、911～913・937教室

午前中に69件のポスター発表、午後10件の口頭発表を実施。学生同士や学生と教員との間で活発な議論がなされ、大変盛況となりました。なお、この卒業研修発表会では、全教員と3・4年生の投票により優秀賞を選出し、学科学位授与式で学科長より表彰されました。



工学部 情報通信工学科

【日時】2月26日(月)
【会場】八木山キャンパスtohtech FORUM

情報通信工学科では、2019年度以来4年ぶりにポスター形式の発表会を実施しました。今年度は、16研究室から合計85件の発表がありました。また、一部の2・3年生も参加し、活発な議論が交わされました。発表後、学生たちによって5件の優秀発表賞が選出され、学科学位授与式で表彰されました。



工学部 都市マネジメント学科

【日時】2月14日(水)・15日(木)
【会場】八木山キャンパス912教室・913教室

4年間の学びを集大成する都市マネジメント学科の卒業研修論文発表会が9号館の2つの会場にて2日間開催されました。今年度は、計70編の論文がすべて口頭発表され、質疑応答の時間には、様々な研究テーマについて教員と発表者間に活発な議論が行われました。



工学部 環境応用化学科

【日時】2月14日(水)
【会場】八木山キャンパスtohtech FORUM

環境応用化学科1期生の研修成果をポスター形式で発表いたしました。午前と午後の部に別れ環境や化学に関する全41件の研修成果の発表が行われました。学部3年生も参加し、活発な議論が行われました。



建築学部 建築学科

【日時】2月7日(水)～28日(水)
【会場】せんだいメディアテーク5階ギャラリー(学外展示会)

今年度は卒業設計24点と修士設計3点のほか、各教員・研究室の活動紹介パネルと学外コンペ出展作品が展示されました。2月26日には外部から5名の審査員を招き、公開審査会も開催されました。学内発表で選出された卒業設計11点と修士設計3点の発表があり、各賞が決定しました。



ライフデザイン学部 産業デザイン学科

【日時】1月30日(火)～2月21日(水)
【会場】せんだいメディアテーク6階ギャラリー(学外展示会)

産業デザイン学科の幅広いデザイン分野を網羅するさまざまな卒業制作を展示し、5日間の開催で1,063人の来場者に恵まれました。2月17日には卒業に合わせたOBOGの集いを、2月20日には外部の関係者をお招きして産学・地域連携テーマ発表を開催しました。



ライフデザイン学部 生活デザイン学科

【日時】2月23日(金)～28日(水)
【会場】せんだいメディアテーク5階ギャラリー(学外展示会)

6日間に渡って卒業研修・制作展を開催し、約1000名を超える方々にご来場いただきました。学生が地域の方々に成果物の報告をする機会や在学生が制作者に作品の過程を質問する機会にもなり、次の世代にもつながる展示会になったと感じました。



ライフデザイン学部 経営コミュニケーション学科

【日時】1月24日(水)
【会場】長町キャンパスR421教室

コロナ禍後、4年ぶりの教室での卒業発表会は盛況でした。2年生と3年生も多数参加し、発表者から4年間の大学生活を振り返ったり、感動的なプレゼンが続出しました。参加者からは多くの質問や感想が寄せられ、知識と情熱が交わる素晴らしいイベントとなりました。



◆令和5年度学位授与式(令和6年3月19日)

令和5年度学位授与式が、3月19日(火)に執り行われました。渡邊 浩文 学長より式辞の後、学部生代表の庄司 晃渉さん(ライフデザイン学部 経営コミュニケーション学科)、修了生代表の大友 侑果さん(工学部 建築学専攻)が答辞を述べました。卒業生、修了生の皆さんの今後のご活躍を心よりお祈りいたします。



令和5年度学位授与者

学部合計:735名

●工学部

学科	人数
電気電子工学科	119名
情報通信工学科	100名
建築学科	6名
都市マネジメント学科	85名
環境応用化学科	55名
環境エネルギー学科	2名
合計	367名

●建築学部

学科	人数
建築学科	126名

●ライフデザイン学部

学科	人数
産業デザイン学科	82名
生活デザイン学科	83名
経営コミュニケーション学科	77名
合計	242名

大学院計:28名

●工学研究科 博士(前期)課程

専攻	人数
電子工学専攻	2名
通信工学専攻	4名
建築学専攻	13名
土木工学専攻	3名
環境情報工学専攻	4名
合計	26名

●ライフデザイン学研究科 博士(前期)課程

専攻	人数
デザイン工学専攻	2名

※今年度は博士(後期)課程の修了生はおりません。

◆産業デザイン学科2年 加藤 めぐみさんが「第12回 OAC学生広告クリエイティブアワード2023」でグランプリを受賞

1月19日(金)、オンラインで開催された「第12回 OAC学生広告クリエイティブアワード2023」で、ライフデザイン学部 産業デザイン学科2年 加藤 めぐみさんがグランプリを受賞しました。

産業デザイン学科の授業「デザイン計画および同実習A」の中のひとつである広告制作は、下總良則 准教授と荒川 千絵 非常勤講師が授業を担当し、日本広告制作協会が主催する「学生広告クリエイティブアワード」と連動して課題制作に取り組んでいます。

第12回目となる当アワードは、株式会社Too、株式会社モリサワ、全日本空輸株式会社が課題提供企業として参加し、各企業テーマにしたがって、グラフィック部門、映像部門が用意されました。

日本全国の高校、高専、専門学校、大学を対象に全95校、グラフィック部門エントリー作品数735点の中から加藤さんの作品「HAWAii!!」が選ばれ、全日本空輸株式会社アワード グラフィック部門 グランプリを受賞しました。



グランプリを受賞したライフデザイン学部 産業デザイン学科2年 加藤 めぐみさん

◆通信工学専攻と情報通信工学科の学生がサイバーボランティア活動において宮城県警察から感謝状を贈呈



宮城県警察から感謝状を贈呈された学生たち

1月24日(水)、八木山キャンパス1号館で工学研究科 通信工学専攻と工学部 情報通信工学科の学生が、宮城県警察から感謝状が贈呈されました。

昨年5月に通信工学専攻および情報通信工学科の学生22名に、宮城県警察より大学生サイバーボランティアを委嘱され、児童被害防止のためSNSの悪質な書き込みや特殊詐欺に関連する書き込みの通報活動を行いました。その取り組みに対し、「サイバー防犯ボランティア感謝状贈呈式」が行われ、サイバー犯罪対策課長より、特に貢献の大きかった8名の学生と大学宛に感謝状が贈呈されました。

なお、本活動は、2014年から始まり、今年で10年目です。

【サイバー防犯ボランティア感謝状贈呈者】

通信工学専攻 2年 横山 未有さん(団体感謝状代表者) / 1年 岡部 将也さん
情報通信工学科 4年 鹿内 嵩天さん、山科 夏輝さん / 3年 嶋津 弘太郎さん、中村 和さん、
畠山 陸さん、山田 美月さん、山家 由莉さん

◆経営コミュニケーション学科4年 横田 美月さんが卒業研修で硬式野球部のドキュメンタリー作品を制作

2月22日(木)、長町キャンパスで、経営コミュニケーション学科4年 横田 美月さんが硬式野球部に密着取材したドキュメンタリー作品「足跡」の試写会が行われ、硬式野球部の下級生から引退した4年生までが参加しました。硬式野球部への密着取材は、2023年2月18日(土)から11月19日(日)までの約9ヵ月間行われ、実際の練習や試合の映像、選手や指導者へのインタビューなどで、約30分の作品に仕上がりました。横田さんの作品は、仙台六大学野球連盟公式YouTubeチャンネルで公開されています。



東北工業大学硬式野球部密着ドキュメンタリー『足跡』

◆経営コミュニケーション学科「チャレンジアブロードプログラム」で 学生6名がマルタ島での現地研修に参加

2月24日(土)から3月4日(月)まで、ライフデザイン学部 経営コミュニケーション学科と産業デザイン学科の学生6名が、地中海のマルタ島で「チャレンジアブロードプログラム」の現地研修に参加しました。チャレンジアブロードプログラムは、経営コミュニケーション学科の専門選択科目(他学科の学生も参加可能)で、10日間の現地研修ではホームステイをしながら、語学研修、プロジェクトワークに取り組みます。

研修では、ヨーロッパをはじめ外国からの留学生たちと積極的に会話し、プロジェクトワークではテーマ別にインタビューを行って情報収集を図りました。異文化間コミュニケーションの成功体験をし、英語が異文化の人たちとのコミュニケーションツールであることを実感しました。



現地研修に参加した学生たち



ホームステイの模様

◆2024年4月に創立60周年を迎えました

創立60周年を迎えるにあたって、60周年記念ロゴが完成しました。今後、記念事業や広報誌特別号発刊、各種イベント等を開催予定です。詳しくは、60周年記念特設サイトでお知らせします。

【制作者】

意匠学生ラボ

ライフデザイン学部 産業デザイン学科 3年 田村 青空 さん

【コンセプト】

八木山・長町キャンパスの2つのキャンパスを大きな2つの円(6の円と0の円)で表現し、その繋がりをラインの途切れないロゴで表しました。5本のラインは、3本の各学部カラーによるラインを工大ブルーのライン2本で挟むデザインとなっています。



60周年記念特設サイト



2024 TOHOKU INSTITUTE OF TECHNOLOGY
60th ANNIVERSARY

東北工業大学60周年記念ロゴ

◆【建築学部完成記念イベント】

建築学部報告+記念講演会(伊東 豊雄 氏+妹島 和世 氏)を開催

2月17日(土)、仙台国際センターで、建築学部完成記念イベント(建築学部報告+記念講演会:伊東 豊雄 氏+妹島 和世 氏「これからの建築を考えようーみんなの家を通してー」)を、建築学科同窓会(尚建会)と共催で開催しました。当日は建築学科の学生をはじめ、各業界で活躍する卒業生や学外の方、850名が参加しました。当イベントでは、世界で活躍する建築家が東日本大震災後に被災地に建設した建物や、会場となったせんだいメディアテークをテーマにディスカッションを行いました。また、同窓生を対象として、2024年に解体が予定されている5号館の見学会が行われ、多くの卒業生が懐かしそうに各教室を見て回りました。



ディスカッションの様子



5号館見学会

Radio

本学ラジオ番組がリニューアルして再スタート!



東北工業大学 presents

TOHTECH radio

2024年4月から「東北工業大学 presents TOHTECH radio」として新たにスタートします。東北工業大学の学び・情報・学生生活のリアルな雰囲気など、これまで以上に魅力を発信していきます。

放送時間: 2024年4月7日(日)より / tbc東北放送: 1260kHz / 毎週日曜日 5:45~6:00

東北放送YouTubeチャンネル tbc東北放送~絆みやぎch~でアーカイブ配信も行っています。

詳細はコチラ



◆ OPEN CAMPUS 2024開催

Open
Campus
2024

今年度も下記の日程でオープンキャンパスが開催されます。直接先輩の話を聞いたり、模擬授業を受けたりしながらキャンパスの実際の雰囲気を体感し、東北工業大学について深く知るチャンス! ぜひお越しください。

第1回

6/22^土

●八木山キャンパス ●長町キャンパス

第2回

7/20^土 21^日

●八木山キャンパス ●長町キャンパス

第3回

8/24^土

●八木山キャンパス

ミニオープン
キャンパス10/12^土 13^日

●八木山キャンパス

大学祭
同時開催ミニオープン
キャンパス

2025年3月下旬予定

●八木山キャンパス



東北工業大学

オープンキャンパスページ

Pick up!

工大クラブ・サークルFILE

体育会系・文化系あわせて50を超えるクラブ・サークルが活動中です。ピックアップしてご紹介します。

FILE

11

幅広いジャンルで楽しく活動中!

ダンスサークル~Funky Jam~

工学部 都市マネジメント学科 3年

くまがい しゅうや

代表 熊谷 柗治さん

私たちダンスサークルFunky Jamは、総勢65名で活動しています。HIPHOP、BREAK、LOCK、POP、HOUSE、KRUMP、JAZZなど幅広いジャンルを楽しみながら練習しています。大学からダンスを始めた人から全国大会経験者まで様々なレベルのダンサーが集まっているので、自分のやりたいダンスと一緒に踊れる仲間きっと出会えます。また、CAMPUS OPEN DAYや工大祭などの学内イベントだけでなく、ショーケースやダンスバトルなど学外のイベントにも参加しているので、多くの人と交流がしたい! ダンスをやりたい! という人はぜひダンスサークルにお越しください!一緒に楽しい大学生活を送りましょう!



Event

4~6月の一番町ロビー催事案内

●開館時間/10:00~17:30(最終日は16:00まで) ●休館日/水・木曜日 ●入館料/無料



一番町ロビー
X(旧Twitter)



●第34回 子ども造形展2024

主催:子ども造形教室&陶芸教室 アトリエネオ

4月5日(金)~9日(火)

3歳児~小学5年生の子どもの作品を展示する、年に一度の展示会。水彩や陶芸やぬいぐるみ、針金、墨、版画、さまざまな素材に挑戦しています。3年生からは油彩にも取り組みました。形が残らないものは画像で残しましたので、プロジェクターでお楽しみください。



●100冊とブックキャンプ

主催:東北工業大学 建築学科同窓会 尚建会 PPB実行委員会

4月12日(金)~23日(火) ※4月17日(水)・18日(木)は休館

PPBは、建築学科OB・OGから同学科の新入生へ「1冊の本」を寄贈してもらい、本のやりとりを通して同じ建築の道を歩む者同士がつながるプロジェクト。本学関係者をはじめ、仙台にゆかりのある方々からのおすすめ本の紹介と、オリジナル本棚の展示を行います。



●第2回 杜のなかま展

主催:NHK文化センター仙台:パステル教室

河北TBCカルチャーセンター:絵画を楽しむなかまの教室

4月26日(金)~30日(火)

両教室共、いろいろなモチーフ、人物モデルを対象に、講師(石井希代子先生)の指導により作品を制作。「絵のジャンルを問わず、自由な形で絵筆を運び、描きたいという気持ちを大切に、素直な気持ちで楽しく学ぼう」のコンセプトに則って、この1年間描いた作品を展示します。



●特別休館 5月3日(金)~7日(火)

●建築学部1年生 建築ワークショップ報告会

主催:東北工業大学 建築学部

5月10日(金)~14日(火)

建築学部では、オリエンテーションの一環として新入生に対して「建築ワークショップ」を行っています。今回の報告会では、そのワークショップの成果を展示。入学したばかりの1年生が初めてまとめた成果物を、高校生や保護者に向けて公開します。



●響児のじゃわめぐ写真展 2024“今よう鳥獣戯画”

主催:今野 響児

5月17日(金)~28日(火) ※5月22日(水)・23日(木)は休館

野鳥を中心に、様々な生き物たちが生きるために繰り広げる日々々の姿を写真に収め、その生き物たちの会話を日本語に翻訳してみました。生き物たちの会話や雄叫びをお楽しみください。



●「星空への招待 一自慢の星空一」

主催:仙台天文同好会

5月31日(金)~6月4日(火)

星空を観測していると、美しい情景や場面に出会うことがあります。その感動的な出会いの写真をまとめ、来場者と感動を共有するために企画。海外遠征の際に撮影した写真もあり、星空星景、流星、星雲、星団、日食、月食など幅広い分野で展示を予定しています。



オリオン座の上を飛ぶ大流星(十河)

Schedule

2024年度
前期の
主な行事予定

4月

- 入学式
4日(木)
- CAMPUS OPEN DAY
5日(金)
- 前期オリエンテーション
8日(月)~11日(木)
- 前期授業
12日(金)~7月25日(木)

6月

- 父母懇談会
1日(土) 青森・秋田
2日(日) 盛岡・新潟
8日(土) 仙台
15日(土) 山形
16日(日) 福島
- 第1回オープンキャンパス
22日(土)

7月

- 第2回オープンキャンパス
20日(土)、21日(日)
- 前期定期試験
26日(金)~31日(水)

8月

- 夏季休業
1日(木)~9月17日(火)
- 北海道科学大学
総合定期戦
20日(火)、21日(水)
- 第3回オープンキャンパス
24日(土)
- 前期成績発表
追再試験時間割発表
30日(金)

9月

- 前期追再試験
4日(水)~9日(月)

大学を支える人々

工大生の
知識を支える
2つの図書館



東北工業大学には、八木山キャンパスと長町キャンパスそれぞれに図書館があり、両館合わせて約25万冊の本を所蔵しています。各学部の特色に合わせて八木山キャンパス本館は工学や建築学系、長町キャンパス分館はデザイン学や経営学系の本を中心に関連する本を揃えています。また、専門書以外にも、新聞、小説、ファッション雑誌も取り揃えており、勉強の息抜きにも利用できます。他にも、本学教員著書コーナー、SDGsコーナーなどがあり、特に人気なのは学生のみなさんが選んだ本を

紹介しているコーナーです。館内には個人の学習スペースに加え、グループワークに利用できる席もあります。ディスプレイや学生同士の憩いの場としても活用してください。大学図書館では、本の貸し出し以外にも学修や研究に必要な情報の調査・提供のサポートを行っています。どうぞ気軽に声をかけてください。



八木山
キャンパス

長町
キャンパス



図書館の
詳細はこちら



▼今回のテーマ 春の疲れを感じたら…

学生サポートオフィス カウンセラー
ささきめぶき
佐々木 芽吹

寒い冬が終わり、少しずつ春の訪れを感じる今日この頃。長町キャンパスの桜もだんだんと咲き始める頃でしょうか。春は物事の始まりを感じ、これから起こることにワクワクと胸躍る時期です。同時に、季節の変わり目で寒暖差や気圧変動も大きく、新しく環境の変化も起こりやすいため、自律神経のバランスを崩しやすい時期でもあります。「なんだかやる気が出ない…」「朝からだるい」という相談も多くなりがちです。春の不調には、バランスの良い食事や十分な睡眠、適度な運動を心掛けることはもちろん、「少し疲れたな」という自分の正直な気持ちに寄り添ってあげることも大切です。

ストレス対処法のポイントに「**三つのR**」というものがあります。

- ①**レスト(Rest)…十分な睡眠で規則正しい生活を心掛ける。**
- ②**レクリエーション(Recreation)…自分の好きなことをして気持ちよくなる。**
- ③**リラックス(Relax)…ストレッチや呼吸法で心身の緊張をほぐす。**

三つのRを意識して、自分に合ったストレス対処法を見つけて春の不調を乗り切りましょう。なかなか一人で解決できない時には、ぜひカウンセリングルームをご利用ください。

- 八木山カウンセリングルーム ●長町カウンセリングルーム
- TEL:022-305-3130 TEL:022-304-5587
- 【開室時間】月曜日～金曜日(10:00～16:00)

表紙の声



工学部 環境応用化学科4年
ささき けいた
笹原 圭太さん

河川水中に含まれるヒ素の除去に関して、数名のグループで研究に取り組もうとしている笹原さん。この研究で得た学びを将来、建築コンサルタントの仕事で活かしたいと望んでいます。



工大写真館



公式Instagramアカウント開設!

2024年4月より、東北工業大学公式Instagramアカウントを開設しました。

大学の最新情報やリアルな学生生活の様子などを投稿していきます。気になる投稿があったら、いいねと拡散よろしくお願いします! たくさんのフォローをお待ちしています!



東北工業大学 ブランドスローガン

未来の エスキースを 描く。

このブランドスローガンは、本学の建学の精神に基づく基本理念を端的に表現するとともに、本学が歩むべき未来への強い意思を表すものとして2022年に制定しました。

本誌「LABORATORY REPORT」では、本学教員それぞれが描く「未来のエスキース」についても語ってもらい、その信念や展望に迫ります。



東北工業大学ブランドサイト
<https://www.tohtech.ac.jp/brand/>

